はR6年度食育に関する市民意識調査項目

は市独自の調査項目の結果

	調査等の項目	市	国	県	国と比較（高校生・大人） ※国の値がない場合は県と比較	大人のデータを分析した結果、 有意に課題がみえた世代、性別、家族構成等
		R6年度	（第4次食育推進基本計画） ベースライン（R2年度）	（第4次やまぐち食育推進計画） 最終値（R4年度）		
関心	食育に関心を持っている市民の割合	高校生67.0% 大人73.7%	83.2%	90%	高校生▲ 大人▲	・20歳代と80歳代以上 ・男性 ・18歳未満の子どもがいない2人以上の家族の人
共食	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	小学生11.9回/週			—	・20歳代・50歳代（朝食・夕食） ・80歳代以上（夕食） ・一人暮らしの人
		中学生11.3回/週 高校生9.0回/週 大人8.8回/週	9.6回/週	9.2回/週	高校生▲ 大人▲	
朝食	地域等で共食したいと思う人が共食する割合	高校生28.5% 大人49.4%	70.7%	38.9%	高校生▲ 大人▲	
	朝食を欠食する小中学生の割合	小学生4.9% 中学生5.0%	4.6%（R1年度）	小学生89.6%（食べている割合） 中学生85.1%（食べている割合）	小学生▲ 中学生▲	
朝食	朝食を欠食する若い世代の割合	高校生10.4% 20～30歳代 24.8%	21.5%	20～30歳代68.6%（食べている割合）	高校生○ 20～30歳代▲	・20歳代から50歳代
	バランス	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	大人44.3%	36.4%	朝食24.7% 昼食43.9% 夕食56.8%	大人○
小学生56.8% 中学生53.9% 高校生51.7% 20～30歳代 35.8%			27.4%	—	小学生— 中学生— 高校生○ 20～30歳代○	
意識	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する市民の割合	高校生45.0% 大人57.9%	64.3%	—	高校生▲ 大人▲	・BMIが25.0以上、18.5未満の人 ・50歳代以下 ・男性 ・18歳未満の子どものいる2人以上の家族の人
適正体重	成人（20～60歳代の男性及び40～60歳代女性）肥満者（BMI25以上）の割合	20～60歳代男性29.9% 40～60歳代女性19.0%	—	男性32.6% 女性22.3%	男性○ 女性○	
	20～30歳代女性のやせ（BMI18.5未満）の人の割合	女子高校生 20.8% 20～30歳代女性8.0%	—	18.5%	女子高校生▲ 20～30歳代女性○	
	低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者（60歳代以上/70歳代以上）の割合	60歳代以上23.0% 70歳代以上22.7%	—	65歳以上17.1%	60歳代以上▲ 70歳代以上▲	
	肥満傾向児（小学5年生男女）の割合	男子 15.35% 女子 7.29%	—	男子15.06% 女子9.55%	男子▲ 女子○	
	肥満傾向児（中学2年生男女）の割合	男子 13.57% 女子 10.34%	—	—	—	
	やせ傾向児（小学5年生男女）の割合	男子 2.36% 女子 3.24%	—	—	—	
	やせ傾向児（中学2年生男女）の割合	男子 3.10% 女子 5.60%	—	—	—	
減塩	減塩のために、どのようなことに心がけていますか。（複数可）	高校生①特になし②調味料を控える③外食（ファストフードを含む）や中食（惣菜・弁当など）を控える 大人①調味料を控える②減塩のみやしょうゆなど減塩商品を選ぶ③特になし	—	—	—	
	中食（惣菜・弁当など）の利用頻度が週4日以上以上の市民の割合	高校生47.9% 大人14.7%	—	—	—	・50歳代以下 ・男性 ・一人暮らしの人
	中食（惣菜・弁当など）にどのようなものを選ぶことが多いですか。（複数可）	高校生①弁当②麺類③揚げ物 大人①弁当②麺類③副菜 1品料理	—	—	—	
	麺類（インスタント麺を含む）の利用頻度が週1日以下の市民の割合	高校生76.5% 大人53.3%	—	—	—	
	麺類の汁を半分残すまたはほとんど飲まない市民の割合	高校生83.3% 大人79.3%	—	—	—	・50歳代～70歳代 ・男性
	外食（レストランやハンバーガーショップなど）の利用頻度が週1日以下の小中学生の割合	小学生63.8% 中学生80.2%	—	—	—	
	即席めん（カップラーメンなど）の利用頻度が週1日以下の小中学生の割合	小学生76.9% 中学生83.6%	—	—	—	
	野菜摂取	1日に野菜料理（海藻類・いも・きのこ類を含む）を3回（食）食べる市民の割合	小学生28.6% 中学生19.8% 高校生17.6% 大人15.4%	—	—	—
こ噛とむ	ゆっくりよく噛んで食べる市民の割合	小学生80.8% 中学生76.4% 高校生60.0% 大人48.7%	大人47.3%	—	小学生— 中学生— 高校生○ 大人○	・30歳代～60歳代 ・BMIが25.0以上の人

	調査等の項目	市	国 (第4次食育推進基本計画)	県 (第4次やまぐち食育推進計画)	国と比較(高校生・大人) ※国の値がない場合は県と比較	大人のデータを分析した結果、 有意に課題がみえた世代、性別、家族構成等
		R6年度	ベースライン(R2年度)	最終値(R4年度)		
業農 体林 験漁	農林漁業体験を経験した市民(世帯)の割合	高校生57.7%			高校生▲	・30歳代・40歳代以外の世代
		大人50.0%	65.7%	—	大人▲	
地産 地消	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	高校生35.1%			高校生▲	・若い世代 ・男性 ・農林水産漁業体験が本人、家族にない人
	大人64.2%	73.5%	—	大人▲		
	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	—	月9.1回(R1年度)	—	—	
	学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値(令和元年度)から維持・向上した都道府県の割合	—	—	※食品使用率69.1%	—	
の環 配境 慮へ	環境に優しい農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	高校生35.4%			高校生▲	・若い世代 ・男性 ・農林水産漁業体験が本人、家族にない人 ・食品ロスが問題となっていることを知らない人
		大人58.8%	67.1%	—	大人▲	
食 品 ロ ス	「食品ロス」が問題となっていることを知っている市民の割合	高校生91.6%			—	—
	大人92.7%	—	—	—		
	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合	高校生74.1%			高校生○	
ふだん食事を残さないように気を付けている小中学生	小学生91.4%		76.5%(R元年度)	—	大人○	—
	中学生90.9%		—	—	—	—
食 文 化 の 伝 承	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民の割合	大人34.9%			大人▲	・若い世代 ・男性
	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている市民の割合	高校生66.7%			高校生○	
	大人60.1%	44.6%	—	大人○		
	郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいる高校生の割合	53.7%	—	—	—	
	郷土料理(けんちょう・ちしやなます・いとこ煮など)を知っていて家でも食べる小中学生の割合	小学生27.4%			—	
	中学生40.8%	—	—	—		
調 理 実 践	食事の時に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをいつもしている小中学生の割合	小学生82.2%			—	・20歳代と80歳代以上 ・男性
	中学生79.5%	—	—	—		
	家庭で料理、食事の準備、片付けなどをほとんど毎日する市民の割合	高校生35.6%			—	
	大人63.6%	—	—	—		
テ ポ イ ラ ア ン	食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している市民の数	小学生94.6%			—	—
		中学生90.9%	—	—	—	
そ の 他	あなたは、市オリジナルの「ねたろう食育ランチョンマット」を知っている小中学生の割合	小学生36.4%			—	—
		中学生57.3%	—	—	—	
		157人	36.2万人(R1年度)	28,000人	—	
		小学生31.3%	—	—	—	
		中学生18.4%	—	—	—	